

「小中の連携を深め、児童生徒の教育課題についてともに考えよう

～コミュニティースクールの運営を通して、小中共に地域を学び、

地域と学児童生徒の育成のための連携を図る～」

I 主題設定の理由

大和地域は、小学校・中学校ともに小規模であり、地域との関りが密接である。これまでもこの交流研究会を通して、授業を参観し合ったり、児童生徒の様子を情報交換したり、地域について学ぶ機会を持ったりしながら、児童生徒の学習課題や生活課題についてともに考え話し合い、小・中学校の連携のあり方について探ってきた。

今年度もこれまでの研究をもとに、さらに小・中学校連携を深めながら様々な教育課題についてともに考えることで、児童生徒のよりよい成長を目指していきたいと考える。また、コミュニティースクールの運営を通して地域とのさらなる連携を図りながら子どもたちの健全な育成をめざすため、テーマを設定した。また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携も図りながら系統的な教育のあり方について考えていきたい。

II 研究内容

1. 第1回ブロック研究交流会

(1) 日時 2019年8月7日(水)午後1時30分から

(2) 会場 大和 道の駅

(3) 内容

①臨地研修「大和地域を知ろう」

・うらじろまんじゅうづくり体験

・地域の方からのお話(地域の活性化について)

②研究討議

・今年度の研究テーマについて

・今年度の活動計画について

2. 第2回ブロック研究交流会

(1) 日時 2019年11月13日(水)午後2時10分から

(2) 会場 大和中学校

(3) 内容

①大和中学校授業参観

・中学校1年生 数学科 授業者 土屋憲一 教諭

②研究討議

・小学校・中学校の校内研修について

・授業についての研究討議

- ・小中の情報交換
- ・今年度のCSの取り組みについて

3. 第3回ブロック研究交流会

(1) 日時 2020年2月19日(水) 午後2時10分から

(2) 会場 大和小学校

(3) 内容

①大和小学校授業参観

- | | | | | |
|------------|----|-----|-------|----|
| ・小学校6年生 | 理科 | 授業者 | 田邊博幸 | 教諭 |
| ・小学校5年生 | 保健 | 授業者 | 幡野成美 | 教諭 |
| ・小学校4年生 | 算数 | 授業者 | 吉本賢司 | 教諭 |
| ・小学校2, 3年生 | 道徳 | 授業者 | 飯室美華 | 教諭 |
| ・小学校1年生 | 音楽 | 授業者 | 鈴木奈津美 | 教諭 |

②研究討議

- ・授業についての研究討議
- ・小中の情報交換
- ・今年度の研究のまとめと来年度に向けて

Ⅲ 成果と課題

1. 成果

- ・臨地研修や相互の授業参観を通じて、小中の教職員が交流できて良かった。
- ・小中の連携を進める上で、互いに授業観察を行うことで、それぞれの児童生徒の学習活動の様子や、児童生徒の実態を見ることができてよかった。スムーズに小学校から中学校への進学ができるような取り組みがされていると思う。
- ・大和地区の教育課題について、情報交換を行うことで、小中の共通の課題が浮き彫りになったと思う。

2. 課題

- ・今年度までの研究の内容・方法については良かったが、来年度はブロック交流研究日が減ってしまうので、限られた回数の中で何をどのようにしていったらいいか考えていく必要がある。
- ・小中の職員で地域について学ぶ時間を確保していくことがとても大切だと思う。
- ・今年度行った、保・小・中合同の引き渡し訓練のように、小さな地域だからこそできる活動を増やしていけたらよいのではないか。
- ・授業を参観し合うことはとても有意義なので、ぜひ継続していきたい。

(ブロック長 前島香織)